

えがおふれあいたかめあい きらい かがやく あざ二っ子

横浜市立あざみ野第二小学校
学校だより 年度末号

令和8年3月25日発行

学校だよりはホームページにも掲載されています。
学校日記も更新中です。ぜひご覧ください。
青葉区あざみ野三丁目29番地3
TEL 045-902-4866



教育の力を信じよう ～卒業生の姿から感じたこと～

校長 大幸 麻理

3月19日(木)、115名の卒業生が、あざみ野第二小学校を巣立っていきました。この学年は、6年前、入学式の翌日から2カ月にわたり休校になった1年生です。新型コロナが5類になるまで、約3年間のマスク生活、友達とくっついたりじゃれ合ったり自由に大声で話したりできない行動制限のある中での学校生活でした。この不自由な生活が子どもの心身の成長においてどんな影響を及ぼすのか、とても心配しました。ですが、子どもたちは元気に6年間の小学校生活を過ごし、一人ひとり立派に成長した姿を見せてくれました。一人ひとりの成長の仕方は様々です。でも、確実に、身体はもちろんのこと、精神的にも大きな育ちを見せ、その姿に感動を覚えました。

「教育」は一人ひとりの可能性を引き出し、様々に挑戦しながら成功や失敗を繰り返し、仲間と協力して成し遂げることで味わう達成感、それらを積み重ねて、自己の成長を自覚することで自己肯定感を高めます。その力が未来を切り拓く力となり、それこそが教育の成果と言えるのだと思います。また、子どもは、人との関わりの中で育ちます。教師と関わり、友達と関わり、家庭や地域の支えを受け、こうした人間関係の中で、人を思いやる気持ちや責任感、多様性を尊重する姿勢などを学び、社会の一員として成長していくのだと思います。

卒業式の式辞の中で、私は卒業生に対し、「みんなはこれからの社会を支える大切な人材です」と語りました。子どもはどの子ども、未来を拓き支える大切な宝です。どの子どももってる可能性を教育の力によって引き出し、その子自身が幸せに未来を生きられるように、そして、その子自身が幸せな未来をつくっていけるように、これからも「教育の力」を信じながら、子どもの学び、育ちを支えていきたいと思っています。

卒業式の最中、涙を流している子どもたちの姿から、充実した小学校生活を送れたのだなあ嬉しく思いました。6年間一緒に過ごしてきた友達と別れ、新たな出会いを通して、子どもたちはまた成長していくでしょう。どんな大人になるのかな、と楽しみです。1年生から5年生の子どもたちも、一年間いろいろな経験を重ね、大きく成長しました。4月からまた新しい出会いがあり、わくわくどきどきが始まります。わくわくしながら、どきどきしながらも、友達と過ごす楽しさを大切にして、学校生活を送ってほしいと願います。

学校だけでは子どもの教育は完全ではありません。保護者の皆さまと一緒に、子どもたちの幸せな未来のために、充実した教育を目指していきたいと思っています。

一年間、様々な教育活動へのご理解とご協力、ありがとうございました。